

公開シンポジウム 体験学習としてのインターンシップの可能性と課題

- ◆ 2015年2月26日(木) 10時～16時
- ◆ 明治学院大学 白金キャンパス 本館1201教室

大学におけるインターンシップは単なる就業体験でよいのだろうか。特に単位を付与するインターンシップの質を高め、学習効果を高めるために何が必要か。これらの問題意識から、インターンシップを体験学習ととらえ、産学連携、地域の課題への取組みなどインターンシップのプログラミングを通して質的向上を計り、学生にとっての教育効果をどのように高めていくかについて、その可能性と課題を探るシンポジウムを開催する。シンポジウムでは、インターンシップ受入側から見た大学のインターンシップについてのインパクトも伺いながら、大学におけるインターンシップの課題である、プログラム開発、体験の振り返りとその学習効果について報告の後、パネルディスカッションを行う。

- 開会挨拶 吉井 淳 (明治学院大学国際学部教授、共同研究代表)
- 趣旨説明 齋藤 百合子 (明治学院大学国際学部准教授、共同研究者)
- 基調講演1 青田 朱実 (パナエデュケーション代表取締役社長)
「香港におけるグローバル人材育成」
- 基調講演2 和栗 百恵 (公立大学法人福岡女子大学国際文理学部准教授)
「インターンシップとリフレクション:学びを生み出し、深めるために」
- (昼休憩)
- 報告1 子島 進 (東洋大学国際地域学部教授)
「国際協力NGOの提供する海外インターンシップ
ー参加者とインターンの対比から」
- 報告2 玄番 隆行 (一般社団法人イコールラボ 共同代表)
「異文化経験としての徳島県木頭の間山地区におけるインターンシップZiVASAN Project」
- 報告3 松岡 洋佑 (株式会社イノベスト 代表取締役、
立教大学リーダーシッププログラム社会連携コーディネーター)
「大学に求められる社会連携先(クライアント)のマネジメントについて」
- パネルディスカッション「インターンシップという体験から学生は何を学ぶか」

質疑応答

閉会

進行 櫻井 結花 (立教大学経営学部助教、共同研究者)

<申込方法>

参加ご希望の方は、事前にメールでお申込ください。
タイトルを【2/26 インターンシップシンポジウム参加希望】として、①お名前 ②ご所属を明記の上、frontier@k.meijigakuin.ac.jp宛て、2015年2月24日(火)までにお送りください。
(当日参加も可能です)

<問合せ先>

明治学院大学国際学部附属研究所 TEL.045-863-2267 (平日 10時～17時)